

平成30年度 第1回 岩手県立前沢明峰支援学校 学校評議員会 会議録

1 日 時 平成30年5月30日（水）14:00～16:00

2 会 場 応接室

3 各評議員から

(1) 質疑応答

A評議員

○高等部には、たばしね学園生も多くいることから、進路目標達成に向けて一層の連携を図りたい。

B評議員

Q ある支援学校では、本事業所との情報交換会がある。また、担当の先生との情報交換会もある。前沢明峰支援学校でもそのような会があるとよい。

A 校長から

前々年度もそのようなご意見があった。今後検討していきたい。

C評議員

○前沢明峰支援学校に来たのは、今日を含めて4回目である。来校前にホームページを見た。子どもたちがとても元気で明るい印象であった。

校舎見学の際も、子どもたちだけではなく、先生方もとても明るく、教育の原点だと感じた。学校経営計画もきめ細かく素晴らしいと感じた。

○「学校に行こう週間」をもっと宣伝してほしい。

D評議員

○安全に関することだが、学校前の道路が工事中で、生徒が渡れない様子が見受けられる。先生方に指導していただきたい。

○支援相談で小学校や中学校に行っているようだが、小・中学校には、支援学校に入学した方が、将来その子のためになるケースもあるように思う。直接保護者と話す機会はあるのか。

A 支援センターから

訪問支援は小・中学校の依頼を受けて行っている。小・中学校から「保護者に話してほしい」という要望があれば直接話す機会はある。

また、情報を提供することはできるが、入学する学校を決断するのは保護者なので、こちらから「本校に来た方がよい」、というように断定して話すことはしないようにしている。

E評議員

○職場体験を1、2回ではなく何回でも行ってほしい。

(6) 協議・助言

① 学校評議員の皆さまからご助言いただきたい事項

ア 校外での学習について

D評議員

地域の人たちは子どもたちを見守ってくれている。ただ、安全についてはすべてを見ることができないので、学校としても安全指導をお願いしたい。

イ 地域の資源活用について

E評議員

勤務する店内に作業製品等の展示物を置いて広く地域の人々に宣伝することも可能である。

D評議員

リサイクル班で使用するアルミ缶等の回収について、声をかけてくれれば地域に呼びかけ、集めることができる。

ウ 卒業後の就労について

B評議員

高等部の卒業生が生活介護で入所し、支援事業B型で活躍している。生活介護だと思っていたが、B型で働ける生徒さんもいるので、B型でも実習に来てほしい。

エ 学校公式ホームページについて

C評議員

写真がたくさんでとてもよい。コメントもよい。このまま続けていっていただきたい。

D評議員

教育方針は入っているが、学校の概要が無いのでどんなことをしているのかがよくわからない点もある。入れてはどうか。

② その他

A評議員

「タブレット端末の活用」について、どのような活用方法があるか教えてほしい。

A 研究部長から

写真を撮って画像を確認したり、動画を手早く観たりすることができる。ただ、私有物ではないためブロックがかかったり、アプリを使うために費用がかかったりするということで思うように使えない面がある。また、活用することにとらわれすぎると本来のタブレット活用の在り方を見失ってしまう恐れがあるので、気を付ける必要がある。

D 評議員

前沢北地区では防災訓練をしている。小規模多機能型居宅「あすも」の避難訓練の際も、お手伝いをしている。住民協議会に協力の依頼があれば、前沢明峰支援学校の避難訓練にもお手伝いできるだろう。実際に災害があったときには、住民の手が必要となると思うので活用してはどうか。